

ひしゃくりレーなど  
220人楽しく体動かす

南幌めぐみ学園

【南幌】障がい者支援施設南幌めぐみ学園(栗林和史理事長)で、第32回スポーツ大会が開かれた。利用

ひしゃくで水を運び、ペットボトルが満杯になる早さを競った「養老の滝」



者や保護者、地域のボランティアから約220人がさまざまな競技を楽しんだ。

14日に開かれ、利用者の中沢和彦さんと小玉陽子さんが「明るく楽しく元気よく頑張ります」と選手宣誓。黄、青、緑、赤の4チームに分かれて争った。チームの色に染められた水をひしゃくで運び、ペットボトルが満杯になる早さを競う「養老の滝」やパン食い競

走、紅白玉入れなどが行われた。

養老の滝では、「頑張れ」「ゆっくりでいいよ」と声援が飛ぶ中、利用者や保護者がひしゃくをリレー。ペットボトルから水があふれると「やったー」と拍手が湧いた。

(岡田典子)